現代中国における女性の財産相続権の現状とその諸問題 -ジェンダー論的アプローチによる研究-

指導 鷹木 恵子 教授 国際学研究科 国際協力専攻 220J1051 鄒 琳 Master's Thesis(Abstract)
January 2022

Women's Property Inheritance Rights in Modern China: A Gender Approach to Current Problems

> LIN ZOU 220J1051

Master's Program in International Cooperation
Graduate School of International Studies
J.F.Oberlin University
Thesis Supervisor: Keiko Takaki

目 次

序 論	1
0.1 問題の所在と本論文の目的	1
0.2 先行研究と本論文の位置付け	1
0.3 本論文のキーワードの定義	2
0.4 本論文の章立て構成	3
第1章 現代中国における相続法と女性の財産相続権	
1.1 現代中国における相続法の変遷と女性の財産相続権	
1.1.1 1949 年以前の相続法の変遷と女性の財産相続権	
1.1.2 中華人民共和国成立以降、1985年までの相続法制度	
1.1.3 1985 年制定の『中華人民共和国相続法』の内容とその諸原則	
1.1.3.1 『中華人民共和国相続法』における法定相続と遺言相続の規定	
1.1.3.2『中華人民共和国相続法』の諸原則について	
1.2 相続に関する他の法律の動向	
1.2.1 『中華人民共和国婚姻法』の改正による夫婦財産制の確立	
1.2.2 『中華人民共和国婦女権益保障法』の制定	
1.3 2020年『中華人民共和国民法典』の公布と施行	
1.3.1 中国民法典の制定経緯と公布	9
1.3.2 『中華人民共和国民法典』の相続編の改正	9
第2章 統計にみる現代中国におけるジェンダーギャップの現状	10
2.1 国際機関の報告書にみる現代中国におけるジェンダーギャップの現状	10
2.1.1 『人間開発報告書』にみる現代中国のジェンダーギャップの現状	10
2.1.2 『世界男女格差報告書』にみる現代中国のジェンダーギャップの現状	11
2.2 中国国内の統計にみる女性の地位と中国女性の財産相続権	12
2.2.1 『中国婦女社会地位概観』にみる中国女性の財産相続権	12
2.2.2 『中国婦女社会地位調査報告』にみる中国女性の財産相続権	14
第3章 現代中国における女性の財産相続をめぐる係争事例研究	15
3.1 裁判文書網の公開係争事例にみる女性の財産相続の現状	
3.1.1 娘の相続権侵害に関する係争事例	15
3.1.2 寡婦の相続権侵害に関する係争事例	18
3.1.3 「分家」(家産の分割)をめぐる係争事例	20
3.2 法院調停事例にみる女性の財産相続の現状	21
3.2.1 娘の相続権侵害に関する法院調停事例	21
3.2.2 寡婦の相続権侵害に関する法院調停事例	22
3.3 新聞・雑誌の「法律相談」にみる女性の財産相続の現状	23
3.3.1 娘の相続権侵害に関する法律相談	
3.3.2 寡婦の相続権侵害に関する法律相談	
第4章 女性の財産相続権めぐる諸問題のジェンダー論的考察	24
4.1 家父長制の影響と女性財産相続権をめぐる諸問題	

4.	1.1 現代中国の「家」と家の財産制度	24
4.	1.2 現代中国における性別役割分業	25
4.	1.3 「男娶女嫁」「持参財」などの伝統的婚姻慣習とその影響	28
4.2	現代中国におけるジェンダーバイアスと女性の財産相続権	28
4.	2.1 一人子政策における男児選好の観念とその問題	28
4.	2.2 民事調停における裁判官のジェンダーバイアス	30
結論	・ 改善策に向けての提言	32
	・ 改善策に向けての提言 中華全国婦女連合会と NGO の活動推進	
5.1	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	33
5.1 5.2	中華全国婦女連合会と NGO の活動推進	33

参考文献

付録1 中国における女性の財産相続権を保護する法整備の年表

付録2 新聞·記事原文

2000 年以上もの長い歴史を持つ中国の伝統的封建社会では、男尊女卑という考えの下、女性には家の財産を相続する権利が与えられてこなかった。1949 年、中華人民共和国の成立後、1985 年に公布された『中華人民共和国相続法』において、初めて相続権の男女平等の原則が明記された。しかし、このような法律上の規定があるにもかかわらず、現在でもなお、女性の財産相続権を無視し、剝奪するような事実が多くみられる。

本論文は、現代中国の女性の財産相続権の現状と諸問題と題し、上記の相続法の男女平等の原則の一方で、女性の財産相続権が実際には男女平等とはなっていない現状を具体的な事例を挙げて明らかにし、その問題点をジェンダー論的アプローチから分析考察し、その現状の改善策に向けて検討することを目的としている。

現代中国における相続方法には、「遺言相続」と「法定相続」がある。遺言が残されていた場合は、被相続人の遺言書により相続人と相続分が決まるものを「遺言相続」という。一方、被相続人が遺言を残さず、相続人の間での話し合いでもまとまらず、相続紛争が起きた場合には、裁判所が遺産分割の調停と民事裁判を行い、その遺産分割は法律で定められた法定相続割合を基準にして決定される。このような民法の規定によって、相続人の順位、受け継ぐ相続分が決められるものを「法定相続」と呼ぶ。

このように相続法に相続権男女平等が明記されたことで、裁判所は財産相続の係争においては、男性を偏重せずに、男女平等の原則を踏まえて、相続法及び民法典で定められた相続順位に従って、法定相続人を確定し、また法定相続分を基準にして分割している。しかし、裁判所のより公正な判決の一方で、実際には財産相続をめぐって、裁判にまで至らずに女性の権利が侵害や剝奪される事例も数多く存在することが知られている。

本論文では、以上のような問題意識に基づき、第1章「現代中国における相続法と女性の財産相続権」では、1949年中華人民共和国成立以降、現在に至るまでの相続法制度について論じていく。まずは1985年に制定された『中華人民共和国相続法』の制定経緯や内容について述べる。また、女性の財産相続権に関わる条文のある婚姻法、婦女権益保障法の規定について述べる。さらに、2021年1月から施行された『中華人民共和国民法典』の内容を紹介する。本章の目的は、第2章以降の議論に先立ち、現代中国における女性の財産相続権を保護する法整備の歴史やその内容を明らかにすることである。

第2章「統計にみる現代中国におけるジェンダーギャップの現状」では、まず、国際連合の国際連合開発計画による『人間開発報告書』と、世界経済フォーラムによる『世界男女格差報告書』および中国国家統計局の統計や報告書に基づき、中国におけるジェンダーギャップの実態を明らかにする。また、中国国家統計局の『中国女性社会地位調査報告』などの報告書に基づき、女性の財産相続権が剝奪されている現状についても触れることにする。

第3章「現代中国における女性の財産相続をめぐる係争事例研究」では、女性の財産相続をめぐる係争の具体的事例を紹介しつつ、女性の財産相続の現状を明らかにしていく。まずは、3-1では最高人民法院が管理している裁判文書網から収集した女性の財産相続に関する判例から、娘、寡婦の財産相続権が侵害された具体的事例をそれぞれ紹介する。また、家産の分割における娘に対する差別を紹介する。相続法に相続権男女平等が明記されたことで、それ以降、裁判所は財産相続の係争においては、男性を偏重せずに、男女平等の原則を踏まえて、相続法および民法典で定められた相続順位に従って、法定相続人を確定し、また法定相続分を基準にして分割・配分している。しかし、裁判所がより公正な判決を下す努力をしているにもかかわらず、裁判にまで至らずに、さらに女性の権利が侵害や剝奪される事例も数多く存在することが知られている。そのため、3-2では、そのよう

な女性差別的な現状や遺産相続に関連する問題点を裁判所のホームページに掲載されている民事調停事例から明らかにするとともに、さらに 3-3 では、新聞・雑誌の「法律相談」の記事からの身近な事例を紹介しながら、さらにその現状と問題点に関して分析考察を加える。

第4章「女性の財産相続権めぐる諸問題解決へのジェンダー論的考察」では、以上の統計や事例研究を踏まえて、法律上では明快な規定があるにもかかわらず、実際には女性の財産相続権が剝奪されているような現状および男女差別に関する諸問題点を指摘し、現代中国において今なお根強く残る「家父長制」や「男尊女卑」的思考などについて、ジェンダー論の視点から分析考察を行う。

第5章「結論 改善策に向けた提言」では、以上の本論での議論を踏まえた結論と提言を述べる。現代中国において今もなおみられる財産相続の女性差別の現状に対して、その解消に向けた改善策として、中華全国婦女連合会と NGO の活動推進や、女性差別解消に向けたジェンダー教育の推進、そして、相続法の改正に向けた動きと提案という三つの観点から、それぞれ提言を整理して述べることにしたい。

参考文献

<日本語文献>

岩井 伸晃

2000 『中国家族法と関係諸制度』東京:テンハン。

落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編

2007 『アジアの家族とジェンダー』東京:勁草書房

郭 美松・豊田 博昭

2010 「中国法院調解制度の現状と課題」『修道法学』32 巻 2 号, pp.152-130。

小浜 正子編

2018 『中国ジェンダー史研究入門』京都:京都大学学術出版会。

加藤 美穂子

1994 『中国家族法の諸問題:現代化への道程』東京:啓文堂。

何 燕侠

1999 「中国における女性と法-『中華人民共和国婦女権益保障法』をめぐって-」 『国連女性』No.13, pp.157-160。

何 燕侠

2007 「現代中国の女性事情」『法制理論』第 39 巻第 4 号,pp.413-449。

関西中国女性史研究会編

2004 『ジェンダーからみた中国の家と女』東京:東方書店。

関西中国女性史委員会編

2005 『中国女性史入門--女たちの今と昔』京都:人文書院。

韓 寧

2013 「中国調停制度の新展開」『白鴎大学論集』第 27 巻第 2 号, pp.185-212。

洪 偉民

2005 「現代中国の結婚式における『孝』の一考察:中日比較の視点から」『人文学 論集』23号, pp.29-46。

龚 廷泰・趙 莉・平野 裕之

2006 「中国の民間調停制度」『慶応法学』第 6 号, pp.463-472。

坂元 ひろ子

2004 『中国民族主義の神話:人種・身体・ジェンダー』東京:岩波書店。

滋賀 秀三

1967 『中国家族法の原理』東京:創文社。

朱 樺

2002 「中国相続法の現代的課題」『立命館法学』2002 年 3 号 (283 号), pp.170-373。

徐 瑞静

2011 「中国家族法の現在」『東洋法学』第 54 巻第 3 号, pp.335-340。

申 秀逸

2008 「中日伝統の『家』相続制度の比較」『千葉大学人文社会科学研究』16 号, pp.1-17。

陳 姃湲

2006 『東アジアの良妻賢母論』東京:勁草書房。

中国女性史研究会編

2004 『中国女性の 100 年―史料にみる歩み―』東京:青木書店。

辻村 みよ子

2010 『ジェンダーと法(第2版)』東京:不磨書房。

中山 義弘

1983 『近代中国における女性解放の思想と行動』東京:山川出版社。

宮沢 千尋

2018 「東アジア女性の伝統的財産権の比較研究に関する論点整理と展望ー中国とベトナムー」『南山大学アカデミー』人文・自然科学編第 16 号, pp.93-104。

藤田 英典

2005 「ジェンダー学の意義 - 教育とジェンダーをめぐる諸問題を中心に - 」 『学術の動向』 10.11, pp.91-95。

潘 剣鋒

2005 「中国の民事紛争解決制度の概要と特色」『関西大学法学論集』55 巻, pp.908-921。 堀口 悦子

2002 「ジェンダー論」『明治大学図書館紀要 図書の譜』6, pp.122-131。

<中国語文献>

何 燕侠

2003 「女性财产继承权的历史考察」『大连大学学报』第 24 卷第 5 期, pp.37-40。

李 文軍

2010 「近代中国女子継承权确立过程论析:革命与法律的二重奏」『妇女研究论丛』 第 6 期, pp.58-64。

吕 春娟

2012 「继承权男女平等:在法律与习俗之间」『海南师范大学学报(社会科学版)』 第 7 期, pp.82-87。

馬 暁莉・趙 暁耕

2005 「论近代女子财产继承权的确立」『湖南社会科学』2005.2, pp.57-60。

陶 春芳・蒋 永萍編

1993 『中国妇女社会地位概观』北京:中国妇女出版社。

张 剑芸

2010 「论我国配偶继承顺序及应继份制度——兼论女性配偶继承权的保护」『漳州师 范学院学报(哲学社会科学版)』No.78, pp.11-16。

<報告書>

国際連合開発計画

2021 『人間開発報告書 2020』

世界経済フォーラム

2021 『世界男女格差報告書 2021』

中華全国婦女連合会 • 中国国家統計局

1991 『中国妇女社会地位调查初步分析报告』

2001 『第二期中国妇女社会地位抽样调查 主要数据报告』

2011 『第三期中国妇女社会地位调查 主要数据报告』

<新聞記事>

2011 年 1 月 26 日 河南法制報「夫妻一方留下遗嘱将财产全部留给儿子合法吗」 2016 年 1 月 21 日 人民法院報「巡回郷村 法護家族愛」

<URL>

中国法院網

2012 「姐弟为争遗产成陌路 法官悉心调解挽亲情」

https://www.chinacourt.org/article/detail/2012/10/id/605436.shtml(最終閲覧:2021/6/10)

2020 「小镇法庭的暖心事 申某的烦心事」

https://www.chinacourt.org/article/detail/2020/07/id/5337895.shtml(最終閲覧:2021/4/25)